

道の駅直売所の販売力強化による 地域農業の活性化

県西農林事務所坂東地域農業改良普及センター

五霞町の「道の駅ごか」の農産物直売所「わだい万菜」は平成17年にオープンして以来、県内屈指の来客数を誇る直売所となっています。普及センターでは出荷者の育成や加工品の開発に携わってきました。今後も圏央道の開通に伴い、さらなる来客数の増加が期待されるため、関係機関と連携して豊富な品揃えと活気ある直売所づくりを支援していきます。

新たなる出荷者の育成 — 五霞農業塾の開催 —

JA、五霞町、普及センターが連携して農業初心者20名を対象に「五霞農業塾」を開講しました。

ほ場を借りての農作業実習と農薬の適正使用や土づくり等についての講義を行い、直売所に出荷できる生産者の育成に取り組んでいます。今年度は五霞農業塾での経験を活かし、受講生2名が出荷を始めました。



五霞農業塾実習風景



人気商品 紅はるかの干し芋とそば焼酎「川霞」

6次産業化への取り組み支援

農産物の付加価値づくりと直売所の品揃えの充実を図るため、さつまいも紅はるかの栽培と干し芋づくりを支援しました。軟らかい食感と美しい黄金色が評判となり直売所の人気商品となりました。

また五霞町産のそばを使った焼酎の商品化にも取り組み、「川霞」ブランドで販売しています。

直売用切花の収量・品質の向上

切り花はお盆前後1週間で1万束以上を売り上げる目玉商品です。花の出荷者は栽培経験の浅い生産者が多いことから、普及センターではコギクを中心とした切り花の栽培講習会とほ場巡回を通して高品質・安定生産を支援しています。

また、電照栽培の導入により需要期に確実に出荷できるよう取り組んでいます。



ハウスの中での栽培講習会